

【JAXA 職員による特別授業】

3月12日金曜日、1学年全員による総合的な探Qの時間「探Q基礎」において、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の植松洋彦様を講師に特別授業をリモートで実施しました。演題は、『日本の宇宙船「こうのとり」—有人宇宙開発への挑戦、そして未来へ—』です。国際社会で活躍する社会人の講話を聴くことで自らの進路について考えることをねらいとしています。「こうのとり」や「国際宇宙ステーション(ISS)」における有人宇宙活動に携わるJAXAの仕事内容や宇宙開発全般における国内外の諸問題に対する視点と国際理解の重要性についてご講演をいただきました。

生徒の感想より

「ランデブーキャプチャー方式」を日本が提案してから12年後、こうのとりで成功し、それが世界標準になっていることに感動しました。

想像することで新しいものが生まれ、私たちは自ら考え、自ら選択していくのだと知りました。自らの選択に責任を持ちたいと思います。

壮大で難しい夢を、同じ夢をもつ多くの人々が協力して実現させることは素晴らしいと思いました。私もその一員になりたいと思います。

「人間が想像できることはいつか叶う」という言葉が印象に残りました。自主性を大切にして「想像」を現実にしたいと思います。



